

本日は弊社創業者 名誉会長 故 小林肇の葬儀に際し、ご多用のところご参列を賜りまして誠にありがとうございます。

故人は昭和四年十二月一日 秋田県山本郡扇淵村に生まれました。父はすでに亡く乳飲み子の頃、母も亡くしたため母の実家である小林家に引き取られました。

米代川を泳いで渡り馬に乗って放牧をし、畑仕事をしながら育ちました。中学になると学徒出陣のため能代の東雲飛行場の特攻隊の訓練所にいたようです。終戦後は鉾山で働きましたが閉山が続いたため東京で勉学や仕事をしようと日本橋で商売をしている遠い親戚を頼り、着の身着のまま昭和二十三年に上京しました。能代高校を卒業した翌年のことでした。

大変多忙な商家に縁を感じ、住込みの丁稚奉公をお願いし、十七年の歳月が流れました。常に新しいことに挑戦していく故人は、老舗の古風な考え方に収まらず、妻あぐりの強い後押しもあり、独立を決意しました。

四年前の「創業五十周年感謝の集い」でお取引先の皆様に「友和の真の創業者は妻だ」とお話をした通りでございます。当日車椅子で参加した妻あぐりは、創業当時の写真を懐かしそうに眺め、昔からのお取引先様と記念写真を撮って嬉しそうであったことを思い出します。

「友和商会」創業の地は湯島天神のそばの間口一間の事務所でした。こちらを借りるために日参した利根川印刷の創業者 故利根川政次様は実績も何もない若造を信じ、大変な廉価で貸してくださいました。この時のご恩は生涯忘れませんでした。

昭和四十年九月八日が創業の日で、故人は三十五歳より良い商品をより安く世の中に安定供給したいという信念で社員が一丸となって創業しました。

元氣だけが取り柄の名もない会社を信じ、商品を売ってくださいました。多くのお取引先様には常日頃より感謝しておりました。

一番初めに故人を信頼し、商品をお譲りいただいた進興樹脂工業所の故松本二郎様のことも終生忘れず、動ける間は夫婦で毎年お参りしておりました。

東京オリンピック後、経済の低迷期の創業でしたが、多くのお客様に支えられながら仕事をしておりました。創業期より懇意にしてくださいましたのが、西友ストアの支配人だった故上野光平様で、様々なお客様にご紹介いただいたり、これからの販売には幅広い流通の勉強が必要だとベガサスセミナーにお誘いくださいました。そのセミナーを主催していたのが、日本リテリングセンターを設立された今は亡き渥美俊一先生でした。実は渥美先生とは創業前にすでにお客様の売場で出会っていたようで、再会に驚きつつもチェーンストア理論と実践について今に続くまで勉強させていただきました。

ファミリーマートの初代社長だった故 沖正一郎様とは日本橋の丁稚奉公時代に出会い、しばらく後にいろいろな商売の場面で再会してお世話になりました。陶器の買付けに同行した際に二人で買った伊賀焼の灰皿を自慢にして大事にしておりました。

珠玉のような出会いに恵まれ、多くの方々に助けられたことが、今日まで続き、故人の、そして会社の宝となっており、ます。

あと四か月で創業五十五年目に入るといふときに旅立ちましたが、新しい時代は後進に任せたいことだと受け止めております。

故人の築いた会社は三代目も入社し、新しい時代に合わせ、大きな改革をしております。これまでの卸小売事業をこの七月よりライフスタイル事業と位置づけ、より消費者の社会的文化的な価値観に近づけるよう進めてまいり、所存でございます。

昨年一月の全国幹部会議は米寿のお祝いも兼ね、社員の前でいつものスピーチを時間をかけて話しておりましたが、新たな元号を迎えた令和元年五月九日、家族に見守られながら穏やかに息を引き取りました。

皆様からのあたたかいご支援に支えられた九十年に及ぶ生涯はきつと実り豊かなものだったと思ひます。生前賜りました数々のご厚情に心より御礼を申し上げます。

令和元年五月十七日（通夜）

五月十八日（葬儀）

株式会社 友和
代表取締役社長 小林 敬一